



# 中期再生計画の完了と 来期以降の再成長戦略について

2009年7月31日

株式会社フォーサイド・ドット・コム

証券コード: 2330

## 1. 中期再生計画の完了

内部環境の整備・強化

外部環境への適応

安定的な利益成長の実現

中期再生計画を完了させ、  
新たな成長ステージへ

## 2. 来期以降の再成長戦略

リアルマーケット規模が大きく、モバイル領域の成長性が高い  
電子書籍市場(*e-book*)に特化する。

中期再生計画の完了

## 7期(2006年)～9期(2008年)

◇再編の選択、BS・PLの合理化

---

◇減損会計への適応、内部統制の強化

---

◇単体の黒字化、事業基盤の再構築の完了

---

## 10期(2009年)

◀ 今期をもって中期再生計画が完了。

◇拡張性ある安定的成長の実現

---

## ～第7期から第10期にかけて対応してきた課題～ 内外の視点から見る各課題について

### 【内的要因の課題】

#### ◇財務諸表の合理化

① モバイル有料コンテンツに資源集中

② コスト削減による収益力強化

③ 製造管理の向上による効率化

#### ◇3Gコンテンツの競争力強化

### 【外的要因の課題】

#### ◇減損会計への適応

#### ◇内部統制の強化

## 財務諸表の合理化（PLの合理化）

※第7期 通期と第10期上期との比較

1. 原価削減・・・細かな原価の見直し	⇒売上総利益率が30%から75%へ	完了
2. 人件費 ・・・コアの人材による効率的な運営	⇒売上人件費率が29%から9%へ	完了
3. 広告費 ・・・プロモーション戦略の見直し	⇒プロモーションリターン率 142%と、 初月利益回収可能な飛躍的改善。	完了
4. 子会社管理コスト節減	⇒子会社撤退によりゼロ化	完了
5. 減価償却費・・・適正化	⇒投資対象の精査と適切な資産評価	完了

## PLの健全化

- ・ 大幅な原価削減により粗利率のUP
- ・ その他販管費の削減により黒字体質化

## 単体事業黒字化

完了

2009年12月期 上期業績  
売上高 : 2,792百万円  
当期利益: 271百万円

## 財務諸表の合理化（BSの合理化、減損会計への適応）

### BSの合理化

1. 負債の圧縮  
… 単体負債の完済

⇒ 全ての借入金完済

完了

### 減損会計への適応

2. 海外の売却  
… 営業権問題の回避

⇒ 高収益事業に経営資源を集中させる為に  
再編・リストラクチャリングを実施。

完了

### BSの健全化

- ・ 有利子負債ゼロ
- ・ 子会社減損リスク ゼロ

完了

## 内部統制の強化

### 第1フェーズ（2006年～2007年）

- ・業務フローの現状把握
- ・決算整備状況の把握



ボトルネックを抽出し、問題点の洗い出し

- ・管理機能・チェック機能の強化



内部統制組織の構築

完了

- ・業務フロー改善項目の実行
- ・決算における情報提供機能の強化



決算早期化の実現  
(決算45日開示)

完了

### 第2フェーズ（2008年～2009年）

- ・内部統制組織の整備及び運用状況の再検証



内部統制組織の再構築(強化)

完了

- ・社内における、決算関連資料の財務分析、  
チェック機能の強化



決算早期化の実現  
(決算30日開示)

完了



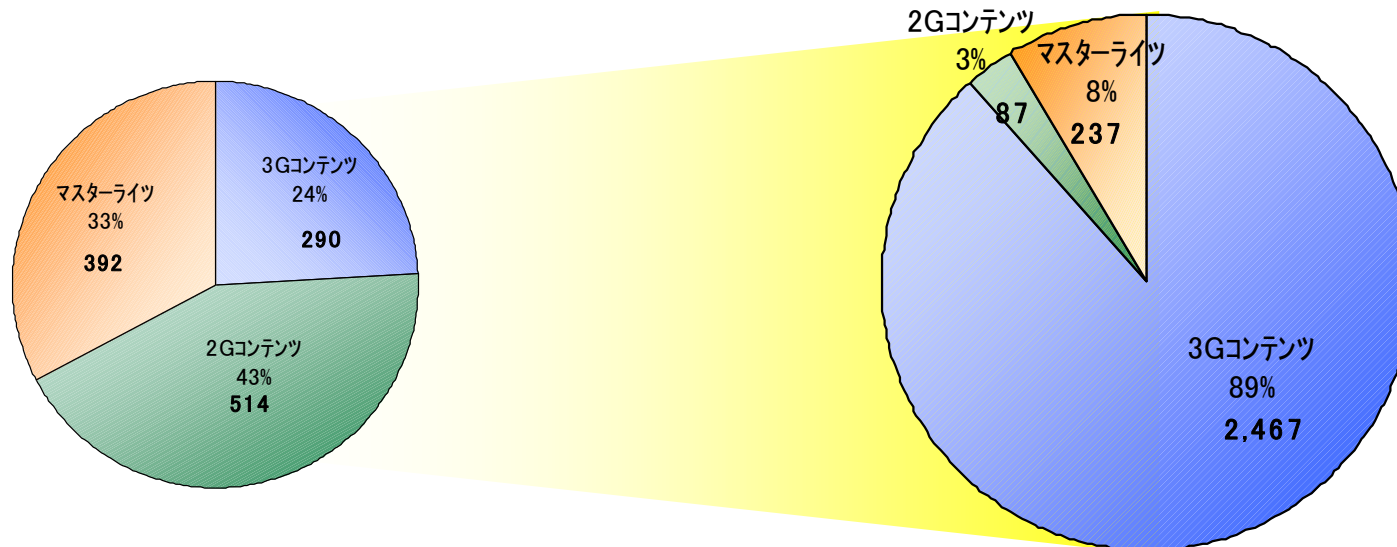
## 中期再生計画 実行による成果 —事業基盤の再構築—

電子書籍を中心とした、3Gコンテンツ事業への選択と集中の結果  
単体事業の売上規模は急角度で成長。

売上高の89%が3Gコンテンツ事業により構成されている。

2007年 上期 売上高:1,197百万円

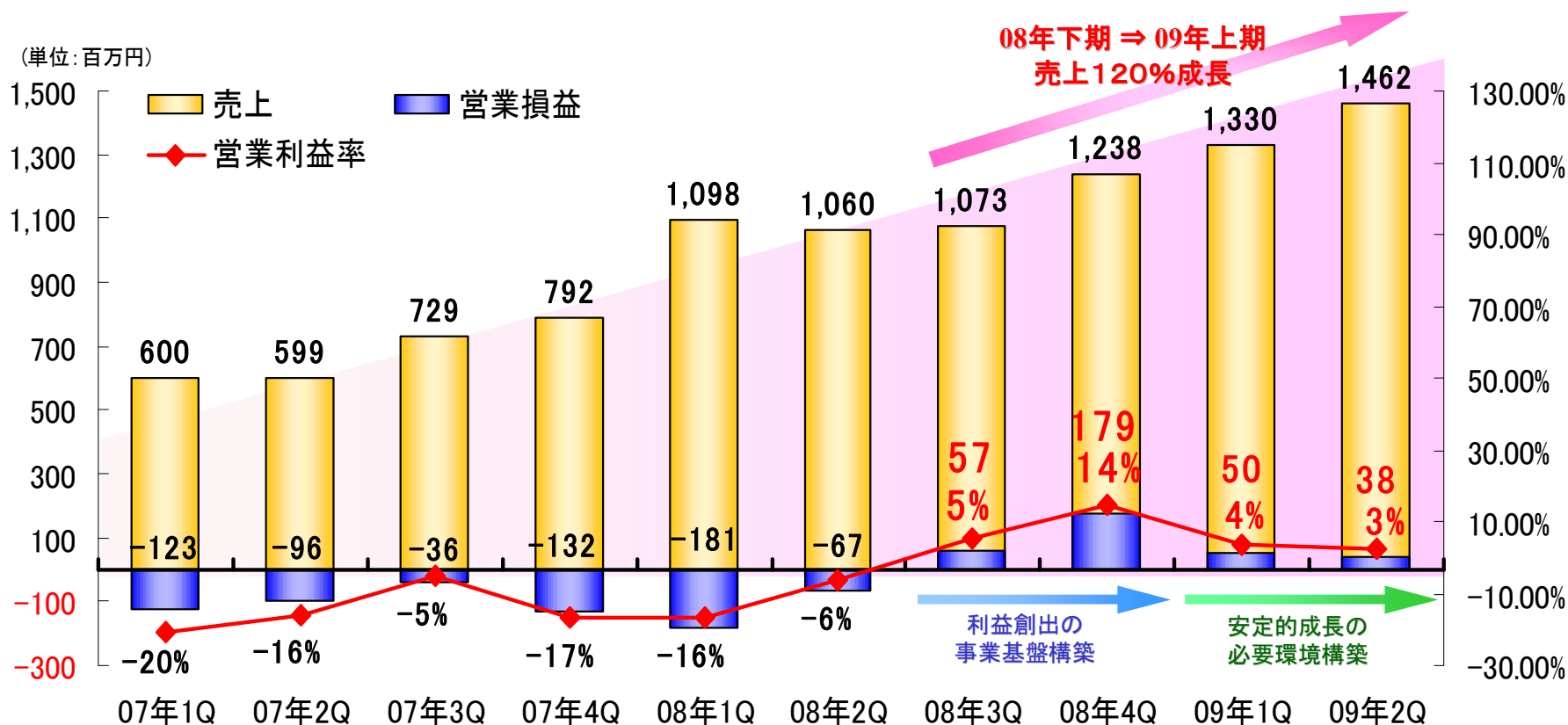
2009年 上期 売上高:2,792百万円



3Gコンテンツ事業への選択と集中により、  
新たな売上基盤の構築を達成。

## 拡張性ある安定的成長の実現

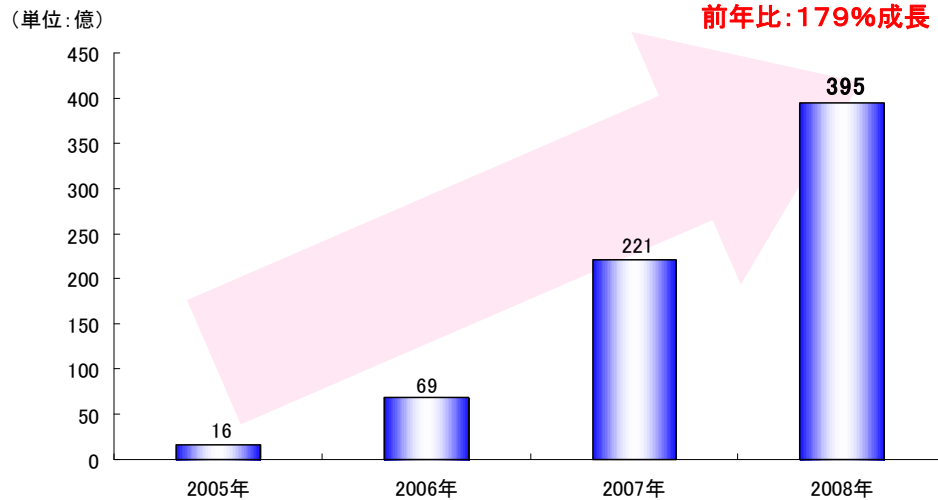
2008年3Qより、単体事業営業利益の黒字化を実現。  
 2009年は最低限の利益を確保した状態で、さらなる規模拡大の為、  
 プロモーションの拡大、テストマーケティングの強化を実施。



# 来期以降の再成長戦略

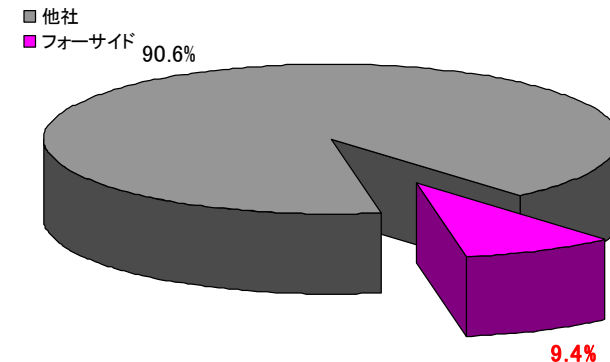
2008年電子書籍市場は、395億と前年比179%成長。  
モバイル市場の中で電子書籍は最も市場成長率が高くなっている。

### 電子書籍市場



(参)総務省発表資料「2008年 モバイルコンテンツの産業構造実態に関する調査結果」

### 電子書籍(コミック)公式サイト



※3キャリア (Docomo・KDDI・Softbank) 合計  
※09年6月数値

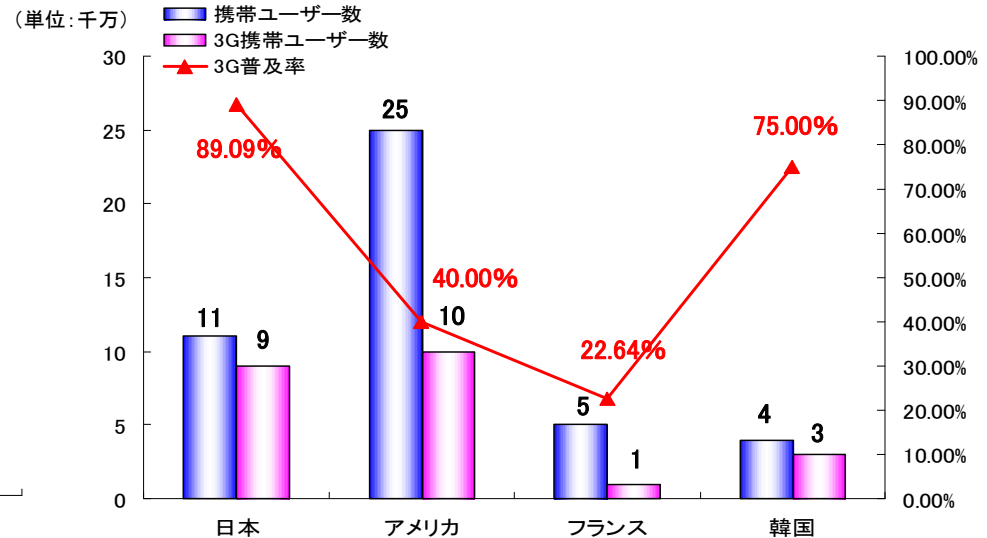
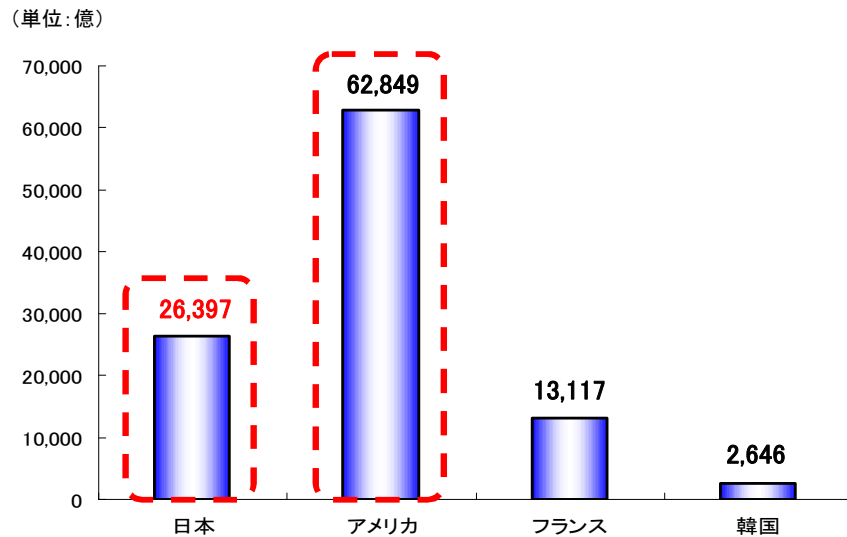
	全体	フォーサイド	占有率
コミックサイト数(6月)	361	34	9.42%
コミックサイト数(7月)	401	37	9.23%

急成長するモバイル電子書籍市場において、  
全公式サイトのうち、およそ10%をフォーサイドが運営している。

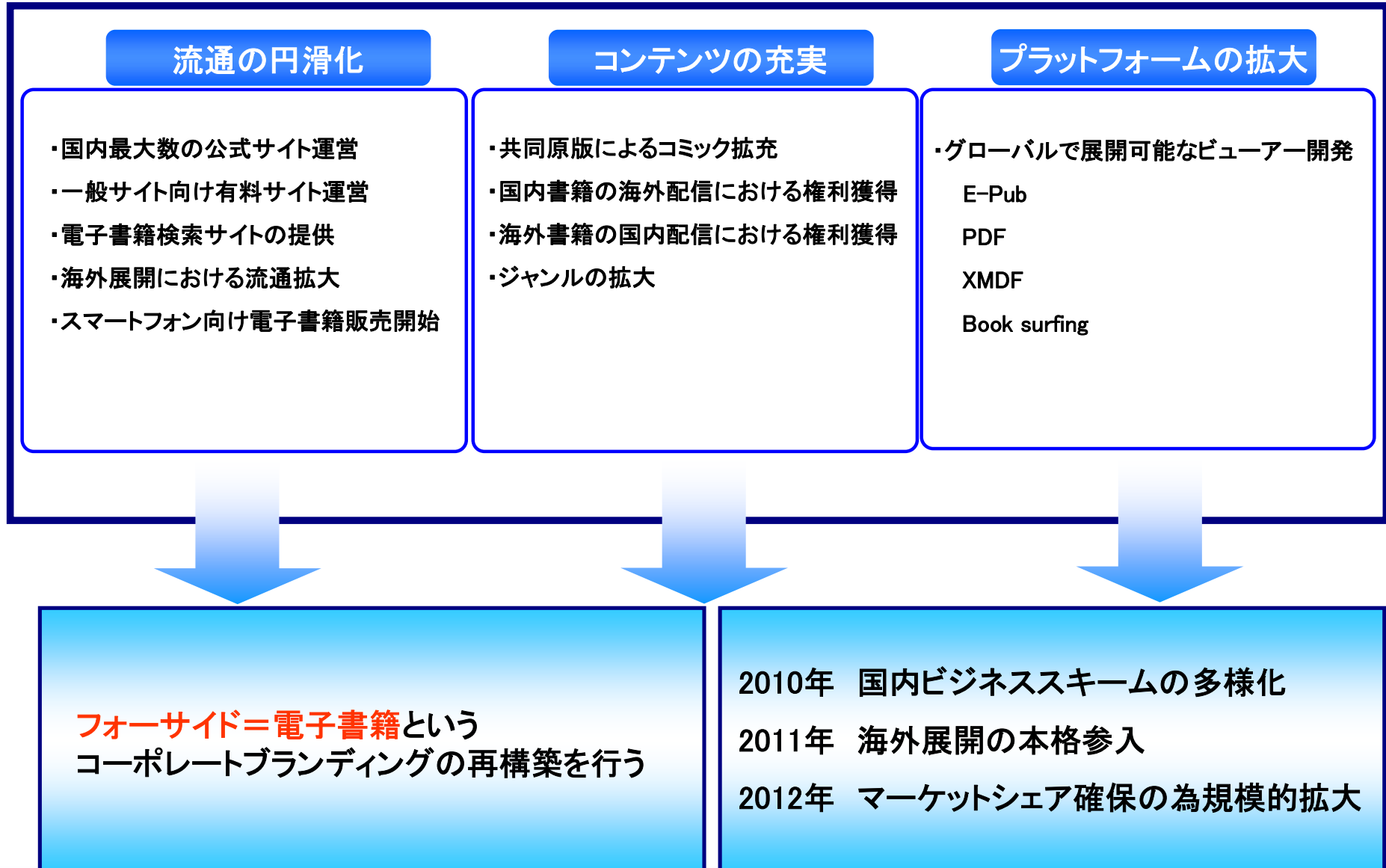
海外の書籍市場規模は日本の書籍市場規模を大きく上回る。  
海外では3G普及率は低いものの、携帯ユーザ数が膨大であり今後3G携帯が普及する事で、海外でも電子書籍ニーズは拡大し日本の電子市場を追い抜く事が可能性が高い。

海外書籍市場規模

海外携帯ユーザ概要



膨大な書籍市場が、リアルからモバイルへと移行されれば  
電子書籍市場規模は飛躍的に拡大される。



国内外の出版社よりニーズの高いタイトルを調達すると共に  
共同原盤作品への出資も行い、作品の拡充を図る

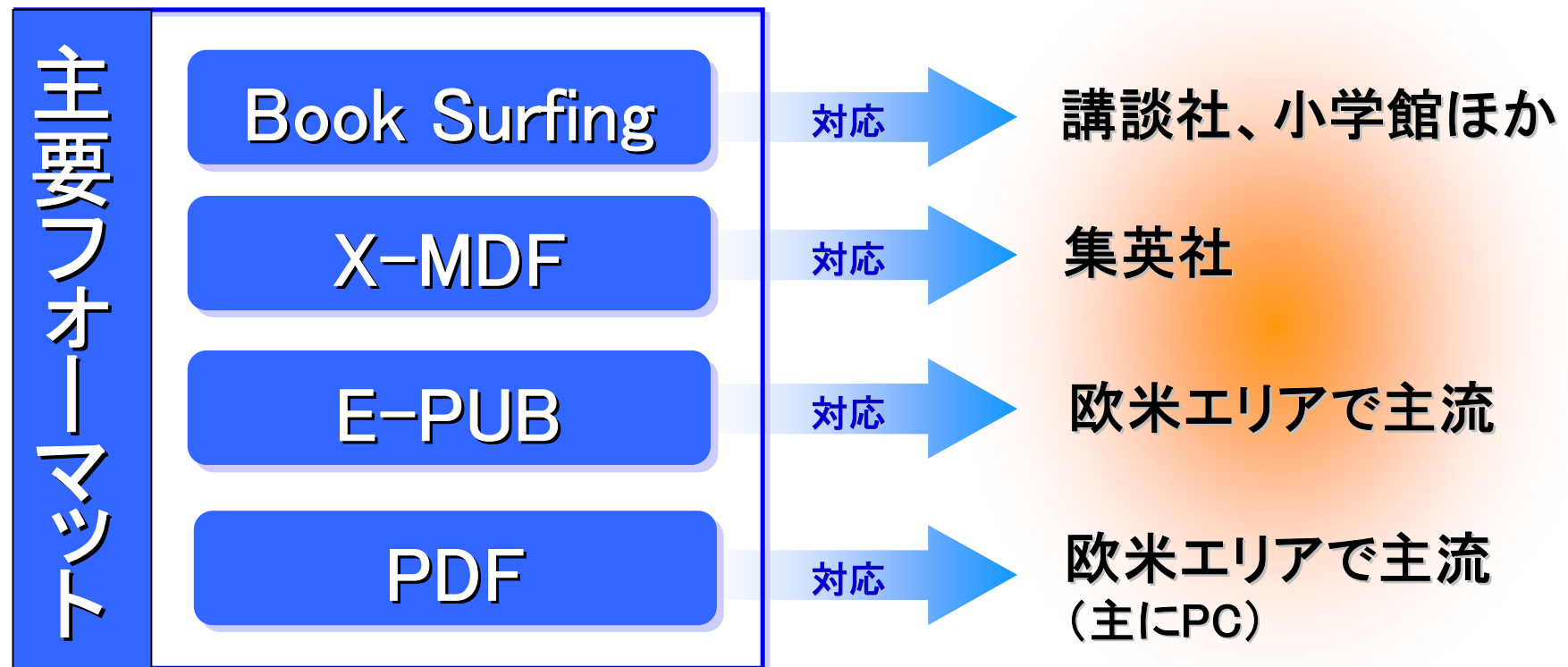


## 各エリアマーケットに合わせた、ビューアーアプリの対応

15

各エリアごとにことなる、フォーマットニーズに合わせた  
ビューアーアプリの対応を行う。

日本の全出版社及び、現地出版社のコンテンツ配信が可能となる。





自社タイトルをはじめとし、幅広いジャンルの豊富なタイトルを  
海外エリアでも順次配信を開始し規模拡大する。

エリア	キャリア	エリアマーケットシェア	開始時期
北米	AT&T Mobility	7,606万台 (28.0%)	【配信中】 2009年7月14日サービス開始
	Verizon Wireless	8,560万台 (31.5%)	2009年8月初旬 配信開始予定
	Sprint	4,900万台 (18.0%)	展開予定
	U.S.Cellular	600万台 (2.2%)	展開予定
	metroPCS	600万台 (2.2%)	展開予定
	T-Mobile	3,280万台 (12.1%)	展開予定
韓国	SK Telecom	2,320万台 (50.1%)	【配信中】 2009年6月～
	KT	1,482万台 (32.01%)	【配信中】 2008年8月～
	LG Telecom	828万台 (17.89%)	【配信中】 2009年6月～

## —免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイド・ドット・コムに属します。